

## コナジラミ類情報（夏秋トマト）

本年8月以降、東濃地域（恵那市）の夏秋トマト栽培施設において、コナジラミ類誘殺数が平年より多く推移しました（図）。同年11月、恵那市の2地点から成虫を採集し、農業技術センターにおいてPCR分析を実施した結果、全てタバココナジラミで、バイオタイプは全てタイプQであることが判明しました。

本種は低温に弱いため、本県では屋外で越冬できませんが、施設内で越冬し、来年に発生が拡大する恐れがあるため、今後、以下の対策によりタバココナジラミ（バイオタイプQ）の防除を徹底してください。

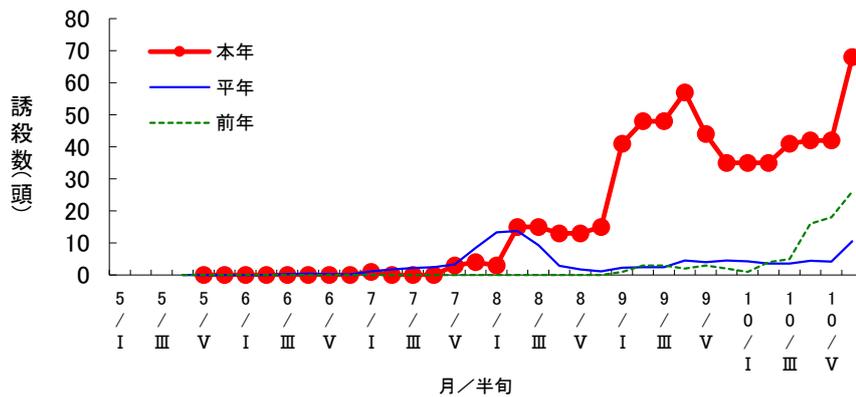


図 黄色粘着板によるコナジラミ類誘殺数の推移  
(恵那市山岡町)

### <防除対策>

- ・タバココナジラミバイオタイプQは、一部の薬剤に対して抵抗性が発達しているため、薬剤選定に注意し、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
- ・栽培終了後、施設を開放し、施設内を氷点下にするすることで、次作への持越しを防ぐ。
- ・苗導入に際しては、タバココナジラミの寄生がないことを確認する。
- ・コナジラミ類成虫は黄色に誘引されるため、施設内外に黄色粘着板や黄色粘着テープを設置し、成虫の発生状況の確認及び侵入防止を図る。
- ・施設やほ場周辺の雑草は、タバココナジラミの発生源となるので適切に除去する。

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。

農林水産消費安全技術センター

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。

岐阜県病害虫防除所

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>